

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-7365

(P2008-7365A)

(43) 公開日 平成20年1月17日(2008.1.17)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)  
**C03C 17/42 (2006.01)** C03C 17/42 4G059  
**F24J 2/48 (2006.01)** F24J 2/48 M

審査請求 未請求 請求項の数 17 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2006-178359 (P2006-178359)	(71) 出願人	304028346 国立大学法人 香川大学 香川県高松市幸町1番1号
(22) 出願日	平成18年6月28日(2006.6.28)	(74) 代理人	100090697 弁理士 中前 富士男
		(74) 代理人	100139262 弁理士 中嶋 和昭
		(72) 発明者	小川 一文 香川県高松市林町2217番地20 国立 大学法人香川大学 工学部内
		Fターム(参考)	4G059 AA01 AA08 AA11 AB09 AB11 AC22 CA01 CB05 EA05 EB07 FA05 FA11 FB04 FB05 GA01 GA16

(54) 【発明の名称】 太陽エネルギー利用装置とその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 太陽エネルギー利用効率の向上と、汚れによる経時劣化の防止が可能な太陽エネルギー利用装置及びその製造方法を提供する。

【解決手段】 撥水性又は撥油性被膜を有する透明微粒子を調製し、これを金属アルコキシドを含む溶液中に分散後、得られた分散液をガラス基材5の表面に塗布し乾燥後熱処理し、透明微粒子が結合固定されたガラス基材5の表面に撥水撥油防汚性単分子膜12を形成することにより、表面が凹凸の撥水性単分子膜で覆われた太陽電池13等の太陽エネルギー利用装置を製造する。

【選択図】 図3

